

第4節 身近な学びと交流のあるまちをつくるために



4-1 出会いや交流の輪の中で、すべての世代が自分らしく学べるまち

施策13 生涯学習のまちづくり

目的	対象	市民
	意図	生涯にわたり学習し、学んだことをまちづくりに生かす

施策の方向

市民が生涯を通じて学習に取り組み、いきいきと豊かな人生をおくることができるよう支援するとともに、学んだ成果が市民同士の交流やまちづくりに生かされるよう、生涯学習を振興していきます。

施策のポイント

- 市民一人一人がそれぞれの興味・関心や生活スタイルに応じた学習ができ、その成果をまちづくりに生かすことのできる環境づくり
- 多様な主体と連携した生涯学習事業の展開

基本的取組の体系

施策13 生涯学習のまちづくり

基本計画事業

13-1 学びのきっかけづくり

学習活動及びまちづくりへの参加の促進 p.132

13-2 学べる機会の充実

市民の読書・調査活動への支援 p.133

13-3 団体の学びの活動支援

学習活動及びまちづくりへの参加の促進 [再掲] p.134

13-4 まちづくりへの学びの成果の活用

現状と課題

- 平成25（2013）年3月に策定した、調布市生涯学習振興プランに基づき、市民一人一人がそれぞれの興味・関心や生活スタイルに応じた学習ができ、その成果をまちづくりに生かすことのできるきっかけづくりや機会の提供などに市民団体や事業者等と協働して取り組むほか、生涯学習情報に関してニーズを的確に捉えた情報提供の工夫を行うことが重要です。また、現行プランが令和4（2022）年度までであることから、計画期間終了後を見据え、今後の生涯学習振興の方針等について検討することが必要です。
- 調布市は、多様な特色を持つ、市内・近隣の大学等と相互友好協力協定を締結し、文化、教育、学術、スポーツなどの分野で連携した取組を進めています。各大学等が開催する市民対象の事業を紹介するなど、各大学の魅力を市民に伝えるとともに、市民の生涯学習にもつながるよう、引き続き連携を強化していくことが重要です。

- 平成29（2017）年4月から運用を開始したちょうふ地域コミュニティサイト「ちょみっと」を活用し、市民の主体的な地域情報の発信を促進しています。
- 市内に11館ある図書館は、市民にとって最も身近な生涯学習の場として利用されています。今後は、読書や交流の場の機能に加え、地域の情報拠点としての機能を備えたものであることが一層期待されます。そのため、多様な媒体による資料や情報を選定、収集、整理、提供、保存し、市民の課題解決につながるよう、その充実に努めるとともに、学校図書館や他の生涯学習施設、ボランティア活動等と連携を図っていく必要があります。
- 公民館は、身近な学習を自らの生活に生かし、その成果を地域の活性化につなげていけるよう、地域の課題解決に向けた支援を行っていく必要があります。

基本的取組の内容

13-1 学びのきっかけづくり

◆多様なきっかけづくり

生涯学習の普及啓発をはじめ、生涯学習の拠点施設である文化会館たづくりや公民館・図書館・博物館等の社会教育施設での講座やイベント、生涯学習出前講座の実施や地域デビュー歓迎会*など、多様な学習のきっかけづくりに努めます。

※地域デビュー歓迎会…主にシニア世代を対象に、学習活動や地域活動に参加するきっかけづくりとして交流会や講演会などを実施している事業

◆学びに関する情報提供及び相談の実施

調布市生涯学習情報コーナーやちょうふ地域コミュニティサイト「ちょみっと」を活用し、市民が学習を始めたい時、学習成果を生かしたい時など、様々な場面に応じて適切な情報提供が行える環境を提供するとともに、民間機関が提供する学習情報も幅広く収集し、提供します。さらに、生涯学習情報コーナーのアウトリーチによる積極的な情報提供や、身近な場所での学習を通じた仲間づくり、学習成果のまちづくりへの生かし方などの相談を行います。

◆だれもが学びやすい環境づくり

年齢や国籍、障害の有無等にかかわらず、だれもが、いつでもどこでも学べる環境づくりを進めます。また、子ども・青少年には運動や様々な体験・交流を通じた学習機会、高齢者には生きがいや仲間づくりにつながるような学習機会など、年代やニーズに応じた機会の提供や支援を行います。

◆子どもの読書活動に関わる意識啓発

子どもの頃から読書の習慣を身につけ、読書を通じて豊かな心が育まれるよう、家庭や学校、地域などの大人も含めた意識啓発を行います。また、乳幼児がいるすべての家庭で読み聞かせが行われるよう、引き続きブックスタート事業*に取り組みます。

※ブックスタート事業…絵本を読むことを通じて、だれもが楽しく、赤ちゃんといれあうひとときを持てるよう支援する事業。調布市立図書館では、乳幼児健康診査時に、月齢に応じたおすすめ絵本リストの配付などを行っています。

まちづくり指標

指標名	基準値	目標値
1年間に生涯学習をした人の割合	38.6% (平成30(2018)年度)	40.0% (令和4(2022)年度)

基本計画事業

No.	43				
事業名	学習活動及びまちづくりへの参加の促進	区分	継続	担当課	文化生涯学習課
事業の概要	市民一人一人の知識や経験を生かし、地域で活躍してもらえるよう、市民団体や大学、民間事業者等との協働により、地域デビュー歓迎会やサークル体験事業のほか、様々な生涯学習講座を実施し、各種活動への参加のきっかけづくりを行います。				
年度別計画	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	
	○地域デビュー事業	○継続	○継続	○継続	
	○生涯学習サークル体験事業	○継続	○継続	○継続	
事業費 (百万円)	1	1	1	1	



生涯学習体験発表コンサート

13-2 学べる機会の充実

◆自己実現につながる学びの推進

多様化する学習ニーズに対応するため、文化・芸術・スポーツに接する機会や学習機会の提供を行うほか、資格やキャリアアップ、起業、就労に関する学習のニーズに対応した職能教育につながる学習機会の提供などを行います。

◆暮らしと地域の魅力・課題の再認識につながる公民館活動の推進

公民館において、防災・防犯、消費生活など、生活に必要な知識・技能に関する学習機会の提供を行うほか、市内の歴史・文化資源を活用した学習活動等を通じて、地域の魅力や課題を再認識できる事業の展開を図ります。また、学習の機会や活動場所の提供などの支援を通じて、市民相互の学び合いの活性化、地域の交流促進を図ります。

◆市民の読書・調査活動への支援

図書館がより効果的な学習活動の拠点として機能するよう、多様な媒体の資料や情報、課題解決につながる資料、映画・地域資料の選定、収集、整理、提供、保存を行います。また、だれもが読書や調査をできるように、音訳、点訳、対面朗読、宅配などのサービスの充実を図ります。

まちづくり指標

指標名	基準値	目標値
社会教育施設の満足度 (上段：図書館、下段：公民館)	68.3% 41.2% (平成30(2018)年度)	75.0% 50.0% (令和4(2022)年度)

基本計画事業

No.	44					
事業名	市民の読書・調査活動への支援		区分	継続	担当課	図書館
事業の概要	図書館資料の選定、収集、整理、提供、保存や、調査研究への支援等を通じ、市民の読書・調査活動をはじめとした学習活動の充実につなげます。 また、だれもが読書や調査ができるよう、音訳、点訳、対面朗読、宅配などを実施します。					
年度別計画	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度		
	○資料・情報の選定、収集、整理、提供、保存 ○資料目録データの整備 ○次期電算システムの検証 ○電子書籍の導入検討 ○職員・嘱託員の能力向上のための研修 ○ブックスタート事業の実施 ○マルチメディアDAISY図書作成 ○地域資料等のデジタル化	○継続 ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 ○継続	○継続 ○継続 ○次期電算システムの更新 ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 ○継続	○継続 ○継続 ○次期電算システムの検証 ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 ○継続		
事業費(百万円)	355	340	340	340		



おはなし会の様子

13-3 団体の学びの活動支援

◆団体の自主的な活動への支援

生涯学習に関連する団体・グループの自主的な活動を維持・継続していくための支援やみんなの広場の活用により利用団体の交流を図るなどの支援を行います。

◆活動場所の確保及び提供

文化会館たづくりや公民館などの生涯学習・社会教育施設の管理や整備、市内の学習関連施設の有効活用など、市民が学習活動を行うことができる場所の確保を図ります。

まちづくり指標

指標名	基準値	目標値
生涯学習情報コーナーのアクセス数	8万3,014件 (平成29(2017)年度)	9万件 (令和4(2022)年度)

基本計画事業

No.	43				
事業名	学習活動及びまちづくりへの参加の促進 [再掲]	区分	継続	担当課	文化生涯学習課
事業の概要	市民一人一人の知識や経験を生かし、地域で活躍してもらえるよう、市民団体や大学、民間事業者等との協働により、地域デビュー歓迎会やサークル体験事業のほか、様々な生涯学習講座を実施し、各種活動への参加のきっかけづくりを行います。				
年度別計画	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	
	○地域デビュー事業	○継続	○継続	○継続	
	○生涯学習サークル体験事業	○継続	○継続	○継続	
事業費 (百万円)	1	1	1	1	



13-4 まちづくりへの学びの成果の活用

◆学びの成果をまちづくりに生かす機会の提供

調布市生涯学習振興プランに基づき、学習を通じた交流や仲間づくりを促進するため、市民の学習成果を発表する機会の提供に取り組むとともに、市民活動支援センター等において、生涯学習で身につけた知識・技能や経験を、ボランティア活動等に生かそうとする人と、地域人材を求めている人や場をつなげるコーディネートを行い、市民の活動を支援します。

また、調布市社会教育計画に基づき、公民館など社会教育施設を中心に地域の学習活動の企画や運営等に市民が参加し、意見交換や交流をすることで、地域人材の活用と地域の活性化を図ります。

まちづくり指標

指標名	基準値	目標値
学習の成果をまちづくりに生かしている市民の割合	19.3% (平成30(2018)年度)	25.0% (令和4(2022)年度)

●その他の主な事業

- ・地域に根差した公民館活動の推進

参加と協働の視点

～市民等に期待される役割～

- 市民は、様々な生涯学習の機会に自主的に参加するとともに、学習を通じて得た知識や成果を、仲間づくりやまちづくりに生かすよう努めます。
- 事業者や教育機関は、市民の様々な学習ニーズに対応した多様な学習機会の提供に協力します。

多様な主体との連携事例

○ 趣味やボランティア活動を通じた地域デビュー事業

主にシニア世代を対象に、学習活動や地域活動に参加するきっかけづくりとして、地域デビュー歓迎会や、各種地域デビュー講座（調布再発見バスツアー、男の料理教室、ボランティア講座）等を市民団体との連携により開催しています。

【所管課】文化生涯学習課

【協働のパートナー】地域デビュー推進委員会



＜地域デビュー推進委員会の様子＞



＜地域デビュー歓迎会の様子＞

○ 多様な特色を持つ大学等との文化、教育、学術、スポーツなどの分野での幅広い連携事業

多様な特色を持つ大学等との文化、教育、学術、スポーツなどの分野での幅広い連携を図るため、平成15（2003）年度から、電気通信大学をはじめ7大学との相互友好協力協定を締結しています。

協定に基づき、市主催事業等への講師派遣や学生ボランティア等の協力のほか、インターンシップ等による学生の受け入れなど、各種連携事業を展開しています。

（平成29（2017）年度連携事業件数：145件）

【所管課】文化生涯学習課

【協働のパートナー】相互友好協力協定締結大学（電気通信大学・明治大学・桐朋学園・白百合女子大学・東京外国語大学・慈恵大学・ルーテル学院大学）



＜中学生のための東京慈恵会医科大学
一日体験入学の様子＞



＜電通大 in たづくりの様子＞